

決算説明資料

～2017年3月期 第3四半期～

説明会開催予定日
2017年2月3日（金）
日本ハム株式会社

目 次

I. 2017年3月期 第3四半期連結業績の総括

II. 2017年3月期の見通し

※ I. II. 非継続事業の売上高、営業利益については各決算期から除いて表示しております。

III. 2017年3月期 第3四半期財務データ

※ III. 非継続事業にかかる損益については独立掲記し、前期の数値を組み替えて表示しております。

I. 2017年3月期 第3四半期連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第3四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 第3四半期累計
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. オペレーティング・セグメント情報 海外事業本部
7. 海外 主要所在地別 外部顧客売上高実績

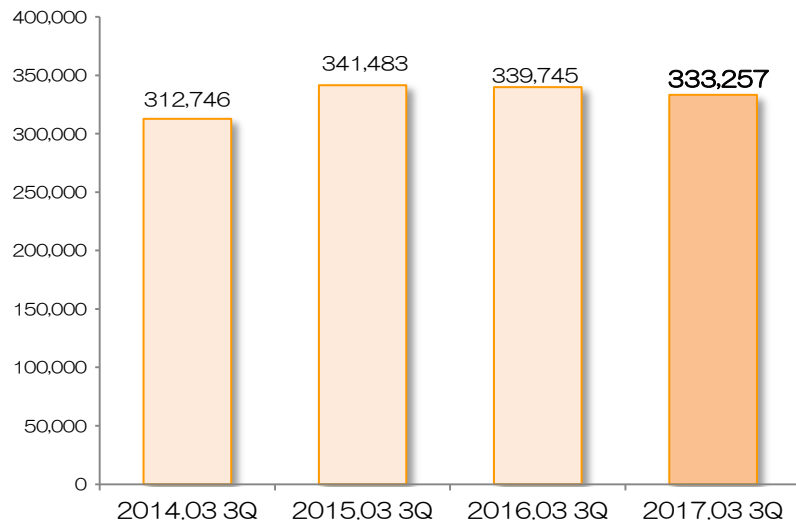
1. オペレーティング・セグメント情報 第3四半期

(単位：百万円)

		2014.03.3Q	2015.03.3Q	2016.03.3Q	2017.03.3Q	前年差	前年比 (%)
加工事業本部	売上高	97,309	98,699	96,105	100,701	4,596	4.8
	営業利益	5,379	3,303	4,342	5,326	984	22.7
食肉事業本部	売上高	184,583	201,419	205,827	199,573	△ 6,254	△ 3.0
	営業利益	9,547	11,975	13,590	15,363	1,773	13.0
関連企業本部	売上高	44,066	46,846	47,261	46,807	△ 454	△ 1.0
	営業利益	1,263	931	1,581	2,018	437	27.6
海外事業本部	売上高	50,283	64,667	63,929	54,981	△ 8,948	△ 14.0
	営業利益	1,913	5,057	901	247	△ 654	△ 72.6
消去調整他	売上高	△ 63,495	△ 70,148	△ 73,377	△ 68,805	-	-
	営業利益	223	79	449	△ 21	-	-
連結合計	売上高	312,746	341,483	339,745	333,257	△ 6,488	△ 1.9
	営業利益	18,325	21,345	20,863	22,933	2,070	9.9

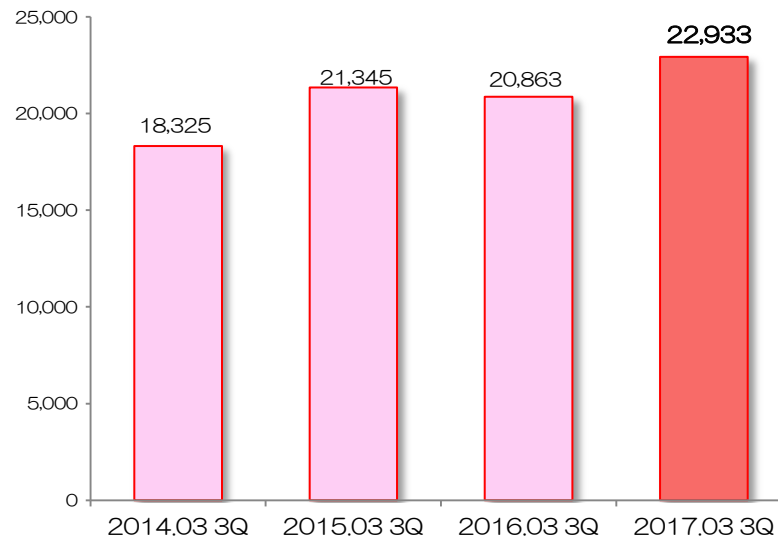
(単位：百万円)

(連結)

売上高


(単位：百万円)

(連結)

営業利益


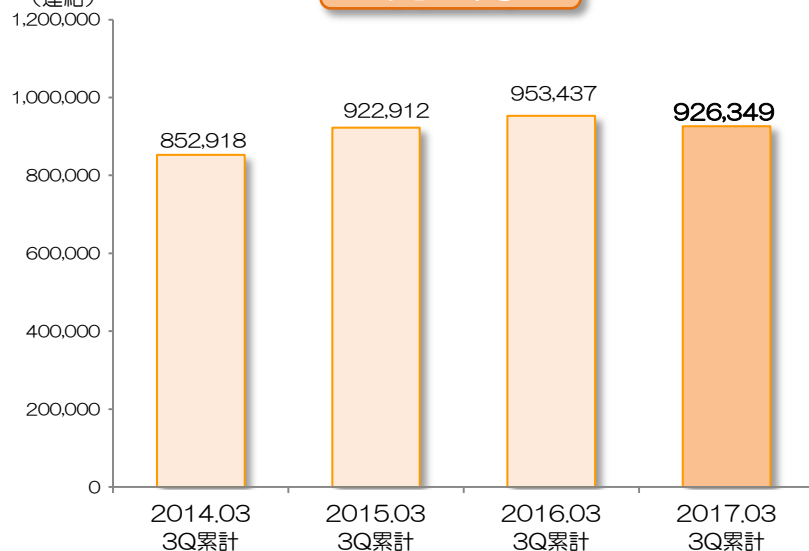
※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※海外事業本部の新設により過年度分を遡及、組替えし記載しています。

2. オペレーティング・セグメント情報 第3四半期累計

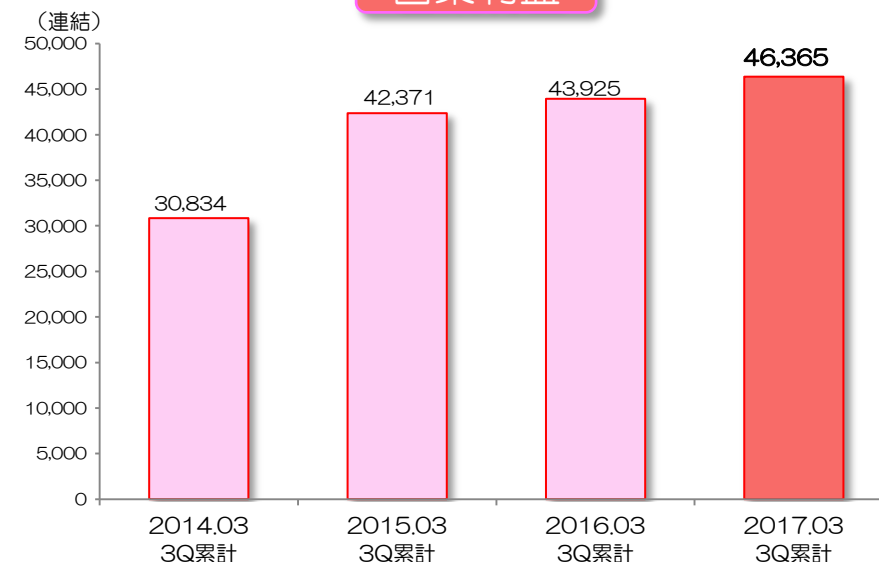
(単位：百万円)

		2014.03.3Q累計	2015.03.3Q累計	2016.03.3Q累計	2017.03.3Q累計	前年差	前年比 (%)
加工事業本部	売上高	260,127	268,256	262,509	269,791	7,282	2.8
	営業利益	7,399	4,904	4,794	8,562	3,768	78.6
食肉事業本部	売上高	511,136	556,888	582,762	570,234	△ 12,528	△ 2.1
	営業利益	16,329	25,980	32,243	34,782	2,539	7.9
関連企業本部	売上高	114,805	121,435	124,353	124,507	154	0.1
	営業利益	1,440	864	2,013	3,620	1,607	79.8
海外事業本部	売上高	149,775	184,896	193,541	164,206	△ 29,335	△ 15.2
	営業利益	4,619	10,290	4,415	△ 352	△ 4,767	-
消去調整他	売上高	△ 182,925	△ 208,563	△ 209,728	△ 202,389	-	-
	営業利益	1,047	333	460	△ 247	-	-
連結合計	売上高	852,918	922,912	953,437	926,349	△ 27,088	△ 2.8
	営業利益	30,834	42,371	43,925	46,365	2,440	5.6

 (単位：百万円)
 (連結)

売上高


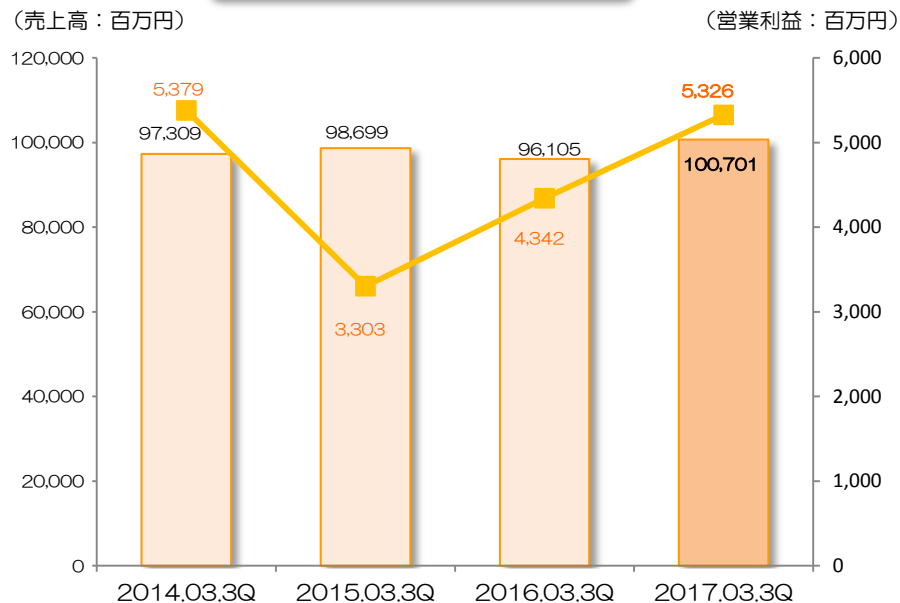
(単位：百万円)

営業利益


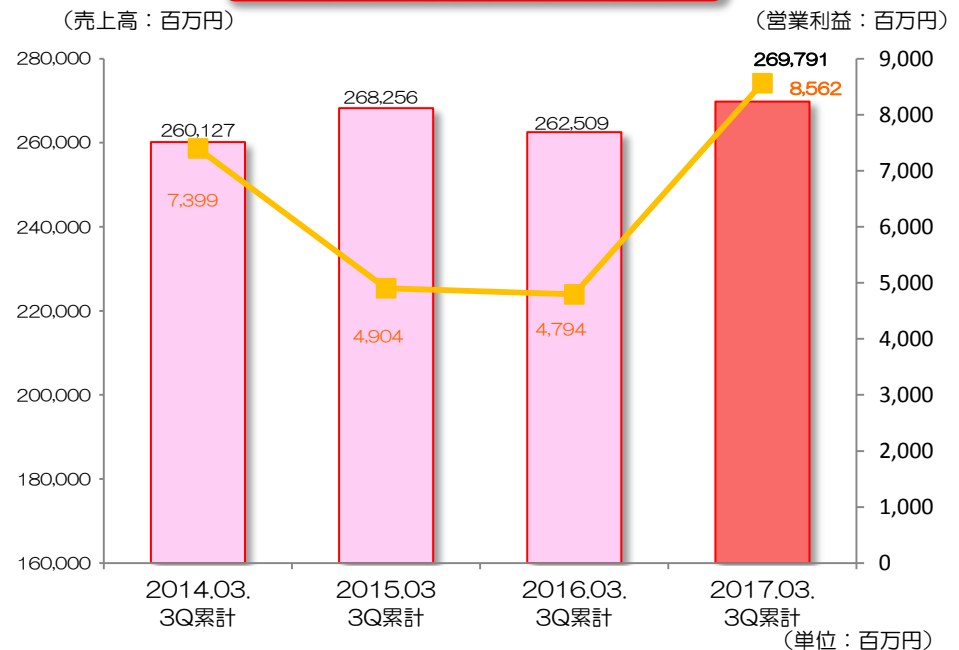
※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P.23の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※海外事業本部の新設により過年度分を遡及、組替えし記載しています。

3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部①

第3四半期実績



第3四半期累計実績



	2016.03.3Q	2017.03.3Q	前年差	前年比(%)
売上高計	96,105	100,701	4,596	4.8
営業利益	4,342	5,326	984	22.7
営業利益率	4.5%	5.3%	-	-

	2016.03.3Q累計	2017.03.3Q累計	前年差	前年比(%)
売上高計	262,509	269,791	7,282	2.8
営業利益	4,794	8,562	3,768	78.6
営業利益率	1.8%	3.2%	-	-

【第3四半期累計売上高の状況】

- ・ハム・ソーセージ
 コンシューマ商品は継続して「シャウエッセン」が伸長し、他の主力ブランドの販売数量も回復した。業務用商品は外食チャンネルで定番商品の導入が進み伸長した。
- ・デリ商品
 コンシューマ商品は新商品が堅調に推移し、既存ブランドも販売数量が伸長。業務用商品はCVSチャンネルでの主力商品の販売が堅調に推移し、増収となった。

【第3四半期累計営業利益の状況】

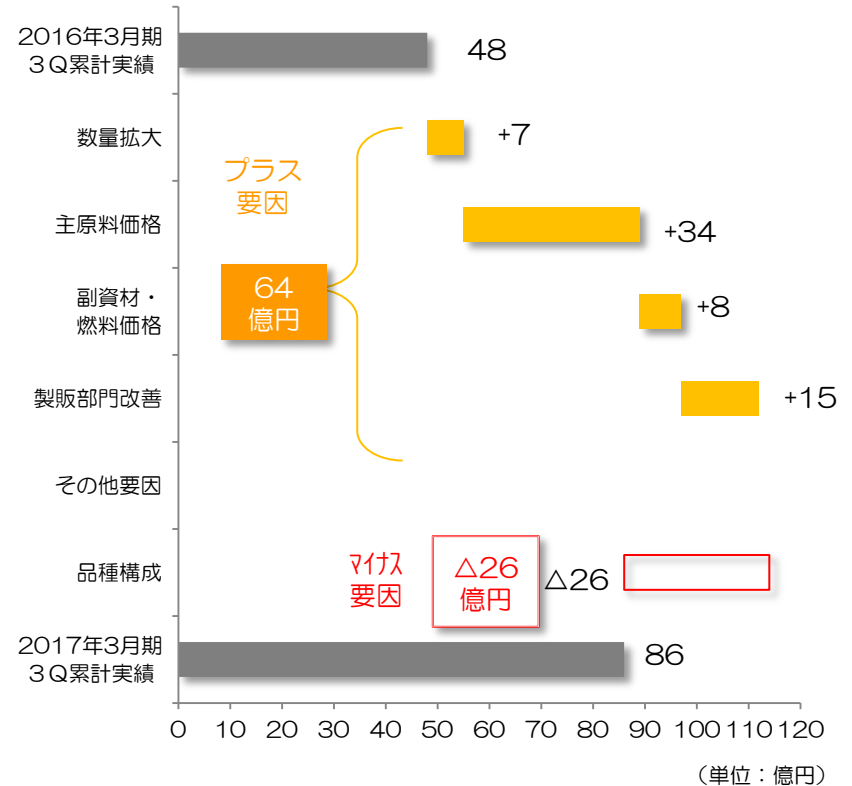
原材料価格が安定していたことに加え、継続して取り組んでいるコスト削減効果の発現や、販売数量の伸長により増益となった。

【営業利益増減要因分析】

	2017.03月期				
	上期実績	3Q実績	3Q累計計画	3Q累計実績	計画差異
数量拡大	3億円	4億円	8億円	7億円	△1億円
利益率改善	25億円	6億円	34億円	31億円	△3億円
外部要因	28億円	14億円	37億円	42億円	5億円
（内訳）主原料価格	23億円	11億円	30億円	34億円	4億円
（内訳）副資材・燃料等	5億円	3億円	7億円	8億円	1億円
内部要因	△3億円	△8億円	△3億円	△11億円	△8億円
（内訳）品種構成（商品リニューアル）	△16億円	△10億円	△22億円	△26億円	△4億円
（内訳）製販部門改善	13億円	2億円	19億円	15億円	△4億円
その他要因	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円
合計	28億円	10億円	42億円	38億円	△4億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【第3四半期累計営業利益実績の増減要因グラフ】



●計画差異要因分析（第3四半期累計）

- ・主原料価格・・・継続して原材料価格が好転し計画を上回った。
- ・品種構成・・・新兵庫工場竣工に伴い、西日本エリアでのシェア拡大を目指し、「彩りキッチンローズハム」の増量実施。また来期のシェア拡大に向け、主カブランドの増量など実施した為、計画を下回った。
- ・製販部門改善・・・製造体制最適化に伴う、商品移管等の一時経費が増加した影響で計画を下回った。

3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部③

●ギフト売上実績

- 2017年3月期の歳暮実績は、前年個数比：108%
『美ノ国』ギフトは前年個数比：115%（構成比は24%）
- 2017年3月期通期実績は、前年個数比：104%
『美ノ国』ギフトは前年個数比：110%（構成比は24%）

【ギフト販売個数 2017年3月期実績】 単位：千個

		2017.03 実績		
		2016.03 実績 個数	2017.03 実績 個数	前年比
中元 (実績)	全社販売個数	2,069	1,997	97%
	(うち美ノ国)	507	514	101%
歳暮 (実績)	全社販売個数	3,878	4,189	108%
	(うち美ノ国)	865	998	115%
合計 (実績)	全社販売個数	5,947	6,186	104%
	(うち美ノ国)	1,372	1,512	110%
	(構成比)	23%	24%	-

●主要ブランド売上実績

【（参考） 主要ブランド商品売上高実績（対前年同期比）】



継続して好調に伸長する
「シャウエッセン」

発売以来好調に推移した
シャウエッセンにピッタリ
「ポトフスープ」

ハム・ソーセージ	2017.03 実績			デリ商品	2017.03 実績		
	上期	3Q	3Q累計		上期	3Q	3Q累計
シャウエッセン	104%	109%	106%	石窯工房群	99%	99%	99%
森の薫りあらびきりソナー	83%	100%	88%	中華名菜群	98%	97%	98%
彩りキッチンシリーズ	91%	96%	93%	プリフライ群	105%	103%	104%
グルメイドステーキ	105%	106%	105%	ハンバーグ・ミートボール群	113%	109%	112%
焼豚群	87%	96%	91%	カレー群	107%	101%	105%
コンシューマ商品計	97%	103%	99%	コンシューマ商品計	104%	104%	104%

●チャネル別売上実績

【（参考）2017年3月期3Q累計 チャネル別伸び率（対前年同期比）】

①コンシューマ商品

ハム・ソーセージは、PB商品の不振をファイターズセール等の販促により、シャウエッセンや重点商品が伸長カバーし回復傾向。
デリ商品はハンバーグ群の新商品が好調に推移した事に加え、チキチキボーン等プリフライ群も伸長。新領域である常温スープも堅調に推移し昨年を上回った。

②業務用商品

ハム・ソーセージは、外食チャネルを中心に商品の導入が進み昨年を上回った。
デリ商品は、引き続きCVSチャネルで主力商品の導入が進み昨年を上回った。

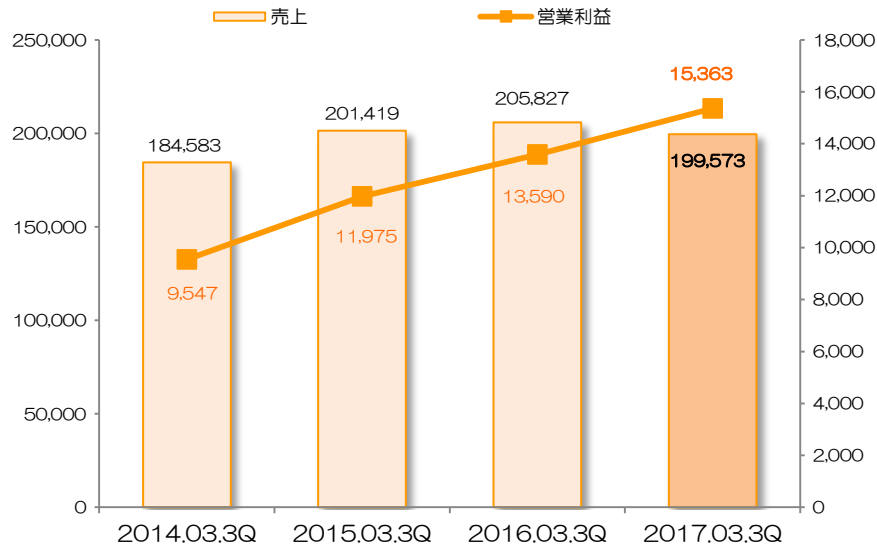
		数量	金額
ハム ・ソーセージ	ｺﾝｼﾞｰﾏ	102%	99%
	業務用	105%	106%
	合計	103%	101%
デリ商品	ｺﾝｼﾞｰﾏ	106%	104%
	業務用	108%	105%
	合計	107%	105%

4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部①

(売上高：百万円)

第3四半期実績

(営業利益：百万円)



(単位：百万円)

	2016.03 3Q	2017.03 3Q	前年差	前年比(%)
売上高計	205,827	199,573	△ 6,254	△ 3.0
営業利益	13,590	15,363	1,773	13.0
営業利益率	6.6%	7.7%	-	-

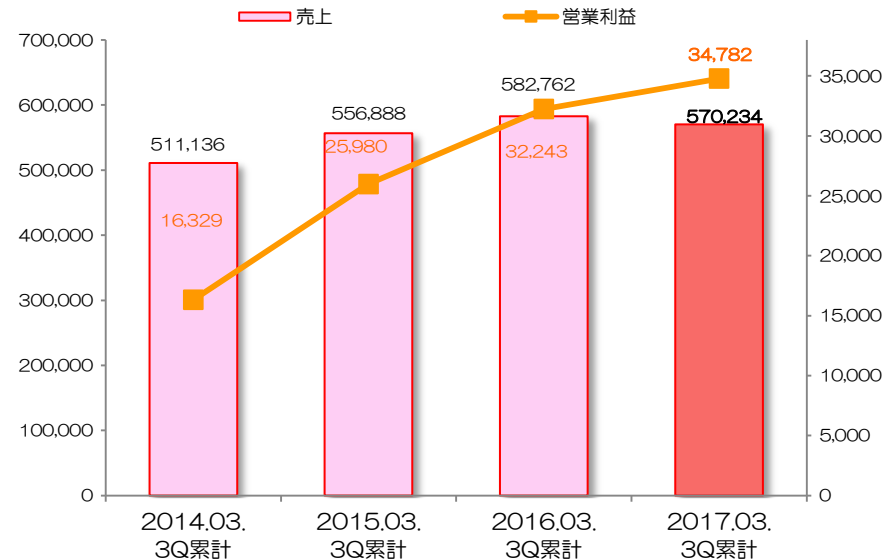
【第3四半期累計売上高の状況】

販売数量は輸入牛肉や国産鶏肉が大きく伸びたものの食肉相場自体は昨年を下回って推移したこと、輸入鶏肉の価格回復遅れが響き売上高は減収となった。

(売上高：百万円)

第3四半期累計実績

(営業利益：百万円)



(単位：百万円)

	2016.03 累計	2017.03 累計	前年差	前年比(%)
売上高計	582,762	570,234	△ 12,528	△ 2.1
営業利益	32,243	34,782	2,539	7.9
営業利益率	5.5%	6.1%	-	-

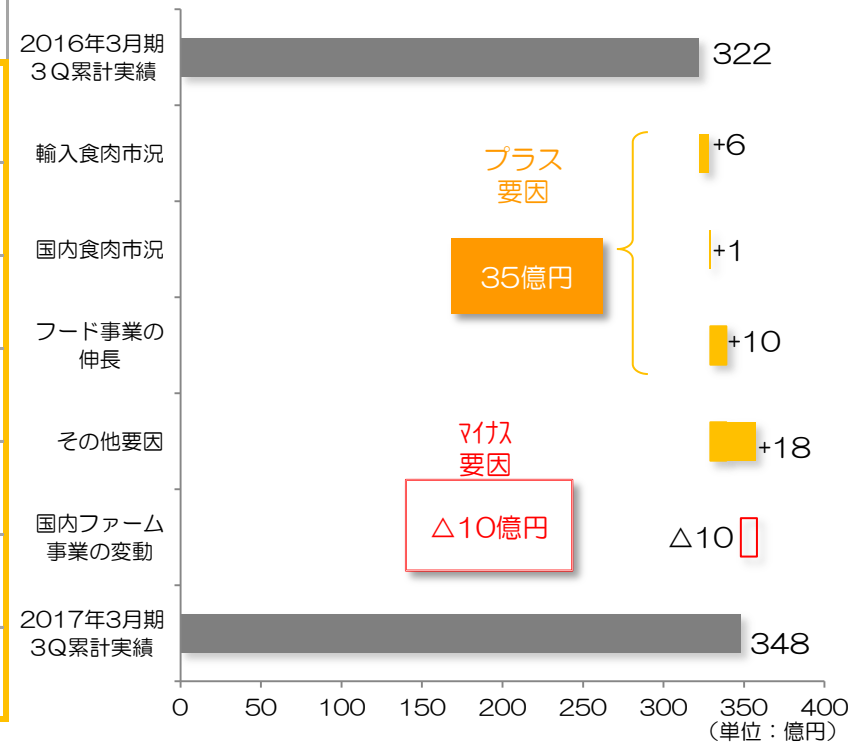
【第3四半期累計営業利益の状況】

鶏肉相場が昨年より軟調で生産事業では苦戦したが、国産鶏肉「桜姫」等のブランド食肉の販売強化や輸入牛肉におけるアメリカ産牛肉の市場拡大により販売数量が伸長し、全体として増益となった。

4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部②

【営業利益増減要因分析】

	2017.03月期				
	上期実績	3Q実績	3Q累計計画	3Q累計実績	計画差異
輸入食肉市況	3億円	4億円	11億円	6億円	△5億円
国内食肉市況	△3億円	3億円	△5億円	1億円	6億円
国内ファーム事業の変動	△7億円	△3億円	△16億円	△10億円	6億円
フード事業の伸長	11億円	△1億円	5億円	10億円	5億円
その他要因	3億円	14億円	2億円	18億円	15億円
合計	8億円	18億円	△2億円	25億円	28億円

【第3四半期累計営業利益実績の増減要因グラフ】


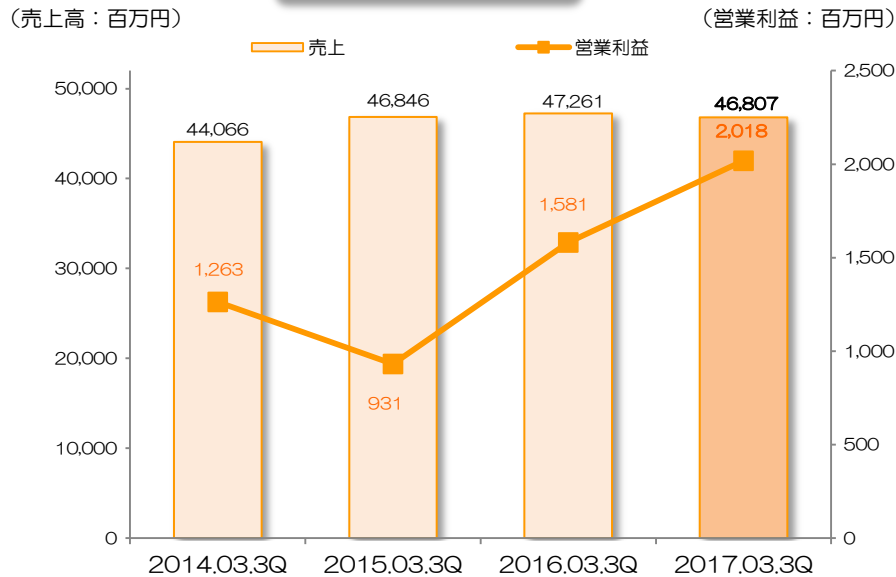
※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

●計画差異要因分析（第3四半期累計）

- ・ 輸入食肉では輸入牛肉が販売好調であったが、輸入鶏肉の市況回復遅れで計画を下回った。
- ・ 国内ファーム事業は、生産性の向上やブランド食肉の生産数量増で減益幅を縮小できた。
- ・ フード会社においてブランド食肉の販売強化など利益の伴った販売数量増で計画を上回った。

5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部

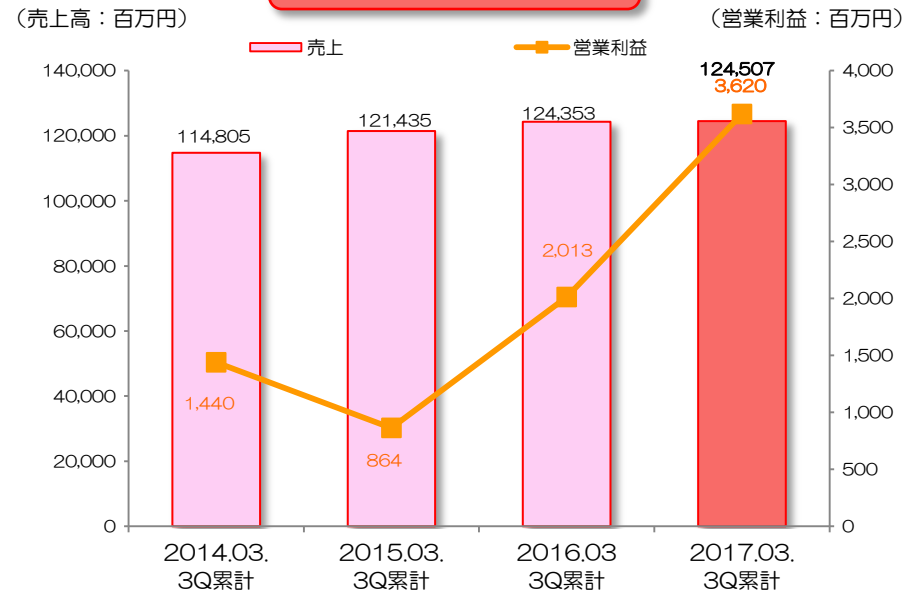
第3四半期実績



(単位：百万円)

	2016.03.3Q	2017.03.3Q	前年差	前年比(%)
売上高計	47,261	46,807	△ 454	△ 1.0
営業利益	1,581	2,018	437	27.6
営業利益率	3.3%	4.3%	-	-

第3四半期累計実績



(単位：百万円)

	2016.03.3Q累計	2017.03.3Q累計	前年差	前年比(%)
売上高計	124,353	124,507	154	0.1
営業利益	2,013	3,620	1,607	79.8
営業利益率	1.6%	2.9%	-	-

【第3四半期累計売上高の状況】

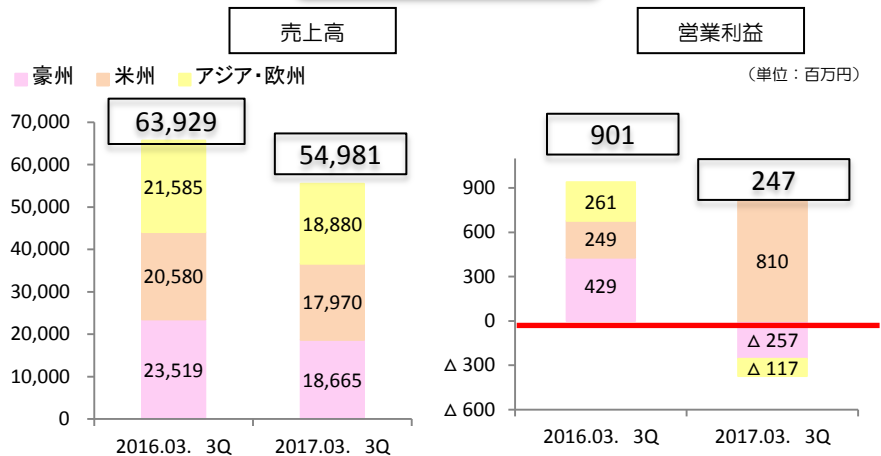
水産品は、漁獲減、海外からの供給減、これに伴う相場高騰で、主力魚種で苦戦したが、自社製造商品の伸長と価格改定で前年並みとなった。乳製品はチーズ、ヨーグルト共に販売が好調に推移し、増収となった。

【第3四半期累計営業利益の状況】

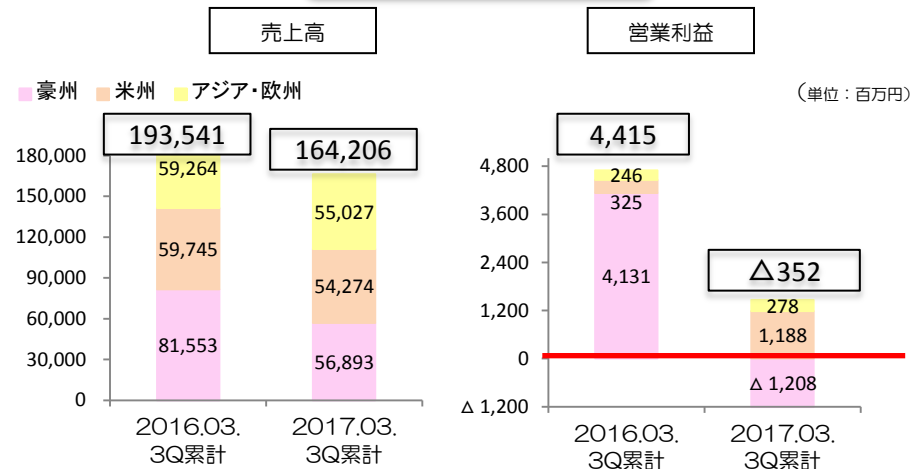
水産品は自社製造商品比率の向上と価格改定効果で増益。乳製品はチーズとヨーグルトの販売数量増加と、工場稼働率の改善により増益となった。

6. オペレーティング・セグメント情報 海外事業本部①

第3四半期実績



第3四半期累計実績



		2016.03.3Q	2017.03.3Q	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	63,929	54,981	△ 8,948	△ 14.0
	営業利益	901	247	△ 654	△ 72.6
豪州	売上高	23,519	18,665	△ 4,854	△ 20.6
	営業利益	429	△ 257	△ 686	-
米州	売上高	20,580	17,970	△ 2,610	△ 12.7
	営業利益	249	810	561	225.3
アジア・欧州	売上高	21,585	18,880	△ 2,705	△ 12.5
	営業利益	261	△ 117	△ 378	-

		2016.03. 3Q累計	2017.03. 3Q累計	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	193,541	164,206	△ 29,335	△ 15.2
	営業利益	4,415	△ 352	△ 4,767	-
豪州	売上高	81,553	56,893	△ 24,660	△ 30.2
	営業利益	4,131	△ 1,208	△ 5,339	-
米州	売上高	59,745	54,274	△ 5,471	△ 9.2
	営業利益	325	1,188	863	265.5
アジア・欧州	売上高	59,264	55,027	△ 4,237	△ 7.1
	営業利益	246	278	32	13.0

※テキサスファーム分については非継続事業の為、本資料数値からは除いて表示しております。

※売上金額、営業利益は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

【第3四半期累計売上高の状況】

- 豪州事業
継続する牛集荷難の状況で処理頭数が昨年を割り込んでいることと、米国向け販売の回復が遅れ減収。
- 米州事業
デイルーフーズ社における加工食品の売上伸長と日本向け食肉輸出が堅調に推移したが、為替換算の影響も有り減収。

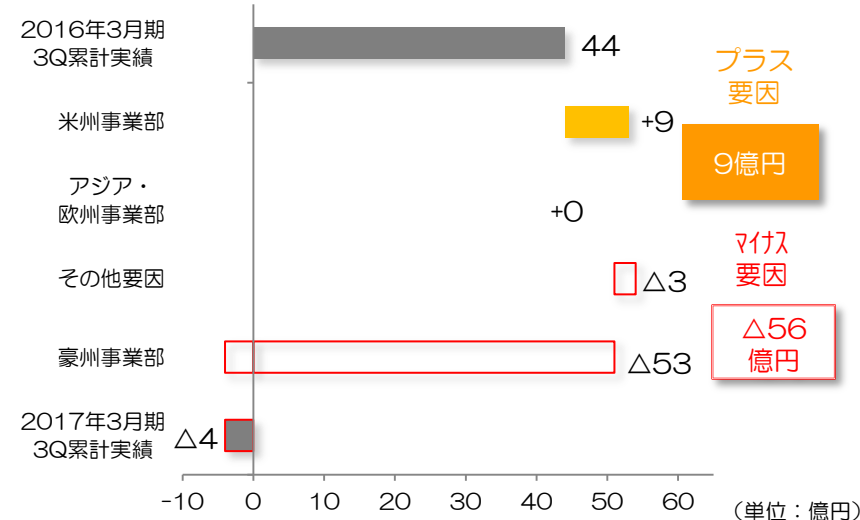
【第3四半期累計営業利益の状況】

- 豪州事業
環境は依然厳しいものの、牛生体価格が少し落ち着きを見せる中、ブランド牛を中心に販売価格への転嫁を進めた。
- 米州事業
デイルーフーズ社の加工食品の製造販売、日本向け豚肉輸出が寄与し順調に推移した。

【営業利益増減要因分析】

	2017.03月期 計画				
	上期実績	3Q実績	3Q累計計画	3Q累計実績	計画差異
豪州事業部	△47億円	△7億円	△54億円	△53億円	1億円
米州事業部	3億円	6億円	7億円	9億円	2億円
アジア・欧州事業部	4億円	△4億円	1億円	0億円	△1億円
その他要因	△2億円	△2億円	△3億円	△3億円	0億円
合計	△41億円	△7億円	△50億円	△48億円	3億円

【第3四半期累計営業利益実績の増減要因グラフ】



計画差異要因

●豪州事業

日本とEU向けのブランド牛肉において価格転嫁が進んだことと、仕入れ価格の落ち着きから3Qにおいて状況は改善した。

●米州事業

デイリーフーズ社の加工食品の製造販売と豚肉を中心とした食肉輸出が寄与した。

●アジア・欧州事業

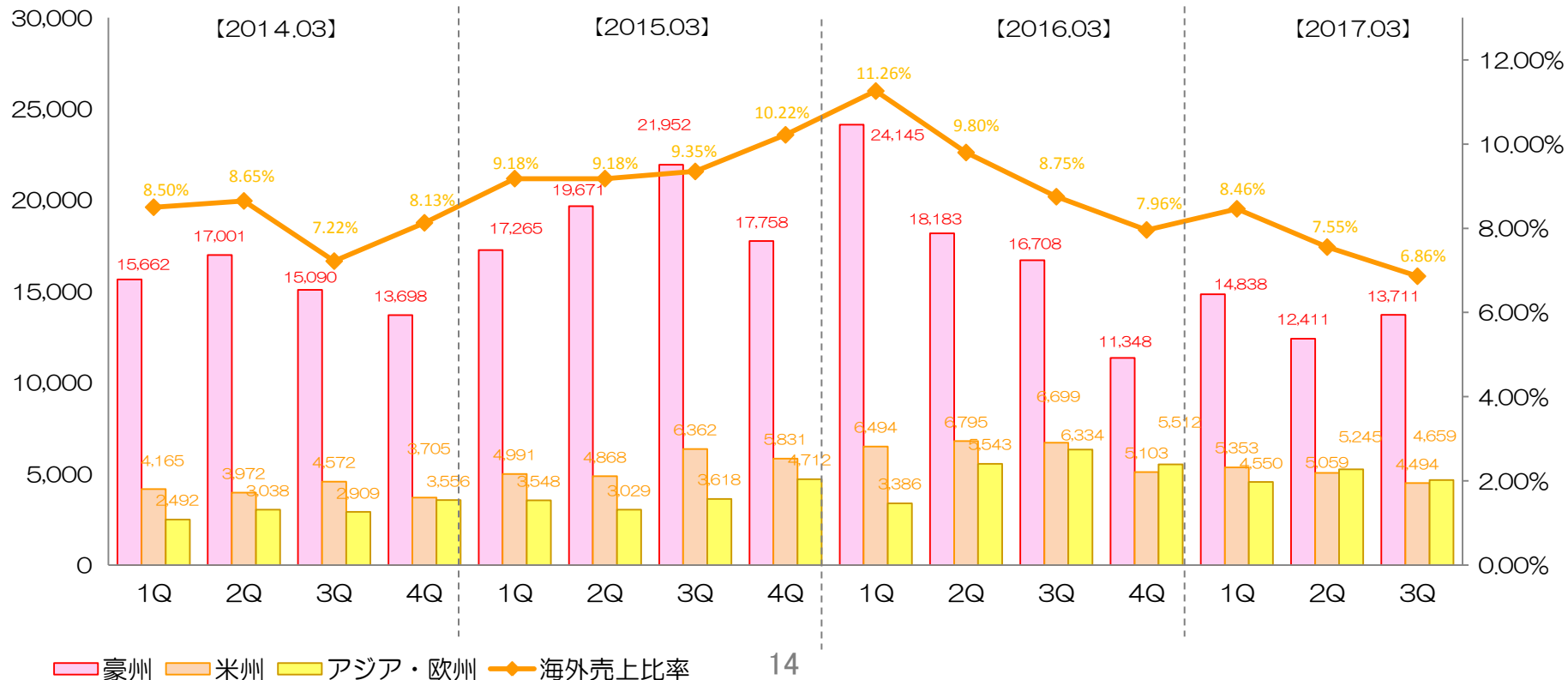
トルコ エゲタブ社において売上数量・金額共に伸びたが、トルコリラ安でコスト増となり苦戦した。EUからの日本向け豚肉輸出において、中長期的な相場高が続いており、利益を圧迫した。

7. 海外 主要所在地別 外部顧客売上高実績

(単位: 百万円: %)

	2014.03	2015.03	2016.03				2017.03			
	通期	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q
豪州	61,451	76,646	24,145	18,183	16,708	11,348	70,384	14,838	12,411	13,711
米州	16,414	22,052	6,494	6,795	6,699	5,103	25,091	5,353	5,059	4,494
アジア・欧州	11,995	14,907	3,386	5,543	6,334	5,512	20,775	4,550	5,245	4,659
海外計	89,860	113,605	34,024	30,522	29,741	21,963	116,250	24,742	22,713	22,866
海外売上比率	8.09%	9.47%	11.26%	9.80%	8.75%	7.96%	9.46%	8.46%	7.55%	6.86%

※売上金額は、外部顧客に対する売上高です。

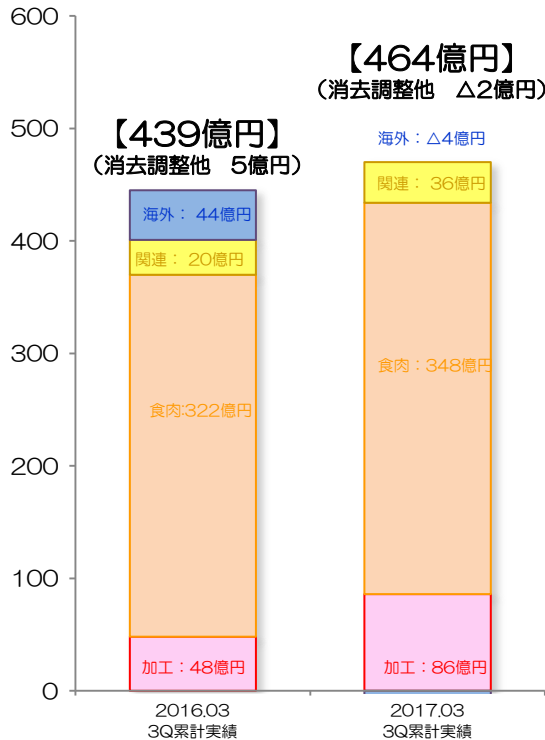


Ⅱ. 2017年3月期の見通し

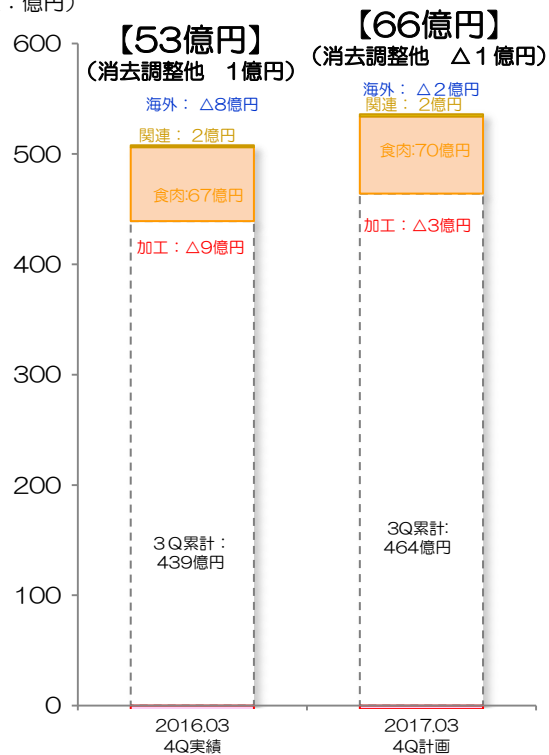
1. 2017年3月期 営業利益計画
2. 2017年3月期計画（加工事業本部）
3. 2017年3月期計画（食肉事業本部）
4. 2017年3月期計画（関連企業本部）
5. 2017年3月期計画（海外事業本部）

1. 2017年3月期 営業利益計画①

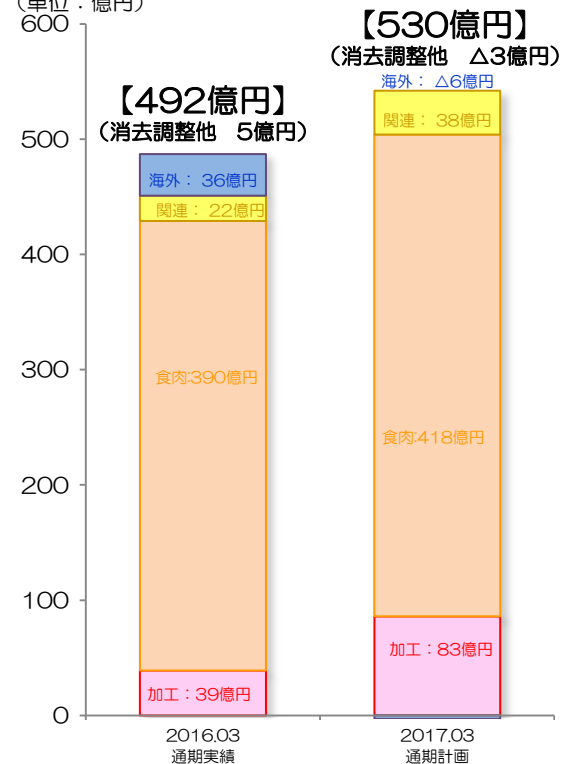
(単位：億円)



(単位：億円)



(単位：億円)



	2017.03.3Q累計実績			2017.03.4Q計画			2017.03.通期見込み		
	2016.03 3Q累計実績		増減	2016.03 4Q実績		増減	2016.03 通期実績		増減
加工事業本部	48億円	86億円	38億円	△9億円	△3億円	6億円	39億円	83億円	44億円
食肉事業本部	322億円	348億円	26億円	67億円	70億円	3億円	390億円	418億円	28億円
関連企業本部	20億円	36億円	16億円	2億円	2億円	0億円	22億円	38億円	16億円
海外事業本部	44億円	△4億円	△48億円	△8億円	△2億円	6億円	36億円	△6億円	△42億円
消去調整他	5億円	△2億円	△7億円	1億円	△1億円	△2億円	5億円	△3億円	△8億円
合計	439億円	464億円	25億円	53億円	66億円	13億円	492億円	530億円	38億円

1. 2017年3月期 営業利益計画②

【第2Q時見直し計画との差異】

※第4四半期及び通期見込みについては、第3四半期後に見直した計画となっています。

	2017.03.3Q累計実績			2017.03.4Q見込み			2017.03.下期見込み			2017.03.通期見込み		
	2Q時計画		計画差	2Q時計画		計画差	2Q時計画		計画差	2Q時計画		計画差
加工事業本部	90億円	86億円	△4億円	△3億円	△3億円	0億円	55億円	51億円	△4億円	87億円	83億円	△4億円
食肉事業本部	320億円	348億円	28億円	70億円	70億円	0億円	196億円	224億円	28億円	390億円	418億円	28億円
関連企業本部	36億円	36億円	0億円	2億円	2億円	0億円	22億円	22億円	0億円	38億円	38億円	0億円
海外事業本部	△6億円	△4億円	2億円	△2億円	△2億円	0億円	△2億円	0億円	2億円	△8億円	△6億円	2億円
消去調整他	0億円	△3億円	△3億円	3億円	△1億円	△4億円	5億円	△1億円	△6億円	3億円	△3億円	△6億円
合計	440億円	464億円	24億円	70億円	66億円	△4億円	276億円	296億円	20億円	510億円	530億円	20億円

【営業利益計画 増減要因分析】

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

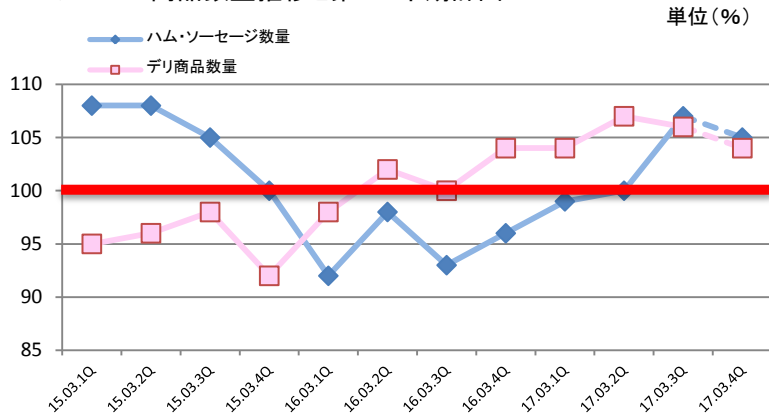
加工事業本部	2Q時見直し計画との差異								
	4Q見込			下期見込			通期見込		
	2Q時計画		計画差	2Q時計画		計画差	2Q時計画		計画差
数量拡大	2億円	2億円	0億円	7億円	6億円	△1億円	10億円	9億円	△1億円
利益率改善	4億円	4億円	0億円	13億円	10億円	△3億円	38億円	35億円	△3億円
外部要因	5億円	8億円	3億円	14億円	22億円	8億円	42億円	50億円	8億円
(内訳) 主原料価格	3億円	6億円	3億円	10億円	17億円	7億円	33億円	40億円	7億円
(内訳) 副資材・燃料等	2億円	2億円	0億円	4億円	5億円	1億円	9億円	10億円	1億円
内部要因	△1億円	△4億円	△3億円	△1億円	△12億円	△11億円	△4億円	△15億円	△11億円
(内訳) 品種構成(商品リニューアル)	△3億円	△4億円	△1億円	△9億円	△14億円	△5億円	△25億円	△30億円	△5億円
(内訳) 製販部門改善	2億円	0億円	△2億円	8億円	2億円	△6億円	21億円	15億円	△6億円
その他	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円
合計	6億円	6億円	0億円	20億円	16億円	△4億円	48億円	44億円	△4億円

食肉事業本部	2Q見直し計画との差異								
	4Q見込			下期見込			通期見込		
	2Q時計画		計画差	2Q時計画		計画差	2Q時計画		計画差
輸入食肉市況	16億円	12億円	△4億円	25億円	16億円	△9億円	28億円	19億円	△9億円
国内食肉市況	1億円	2億円	1億円	△1億円	5億円	6億円	△4億円	2億円	6億円
国内ファーム事業の変動	△4億円	△3億円	1億円	△13億円	△6億円	7億円	△19億円	△12億円	7億円
フード事業の伸長	△8億円	0億円	8億円	△15億円	△1億円	14億円	△4億円	10億円	14億円
その他要因	△3億円	△8億円	△5億円	△4億円	6億円	10億円	0億円	10億円	10億円
合計	3億円	3億円	0億円	△7億円	21億円	28億円	0億円	28億円	28億円

2. 2017年3月期計画（加工事業本部）

● コンシューマ商品売上拡大施策

コンシューマ商品数量推移と第4四半期計画



※17.03.4Qは計画値です。

- ・ シャウエッセンの更なる拡販とシャウエッセンに次ぐソーセージ新ブランド商品の育成と拡販。
- ・ ハム・ソーセージ、デリ商品共にディナー商材になる商品を投入。新たな食シーンの提案を強化する。
- ・ 新領域であるスープなどの常温商品やチルドカレー等を投入し新たな売場の獲得を図る。
- ・ TVCMの投入等積極的な販促活動を実施し、重点商品の売場拡大を図る。



展示会で好評価の「豊潤あらびきウインナー」



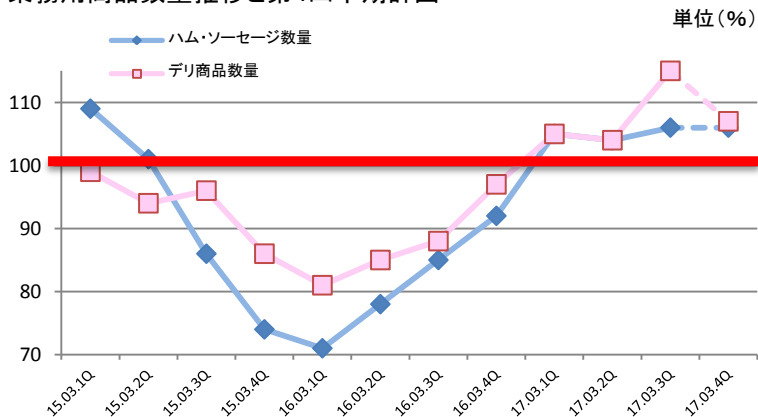
新たなハムの食シーンをご提案する「ロールステーキ」



新領域であるチルドカレー市場を創造する「バターチキンカレー」

● 業務用商品売上拡大施策

業務用商品数量推移と第4四半期計画



※17.03.4Qは計画値です。

- ・ 得意先課題である『オペレーションの簡略化』、消費者の『健康』『節約』『こだわり』志向に対応した商品開発強化と拡販。
- ・ 他の事業本部との得意先共有や共同プレゼン、ブランド食肉を使用した商品開発等グループ横断型プロジェクトを活用した総合提案の実施。



ブランド食肉を使用したドルチェポルコ®使用「6種のスパイス&ハーブベーコン」



ユーザー様のオペレーションを軽減！！解凍のみで使用できる「焼き目入りウインナー」

3. 2017年3月期計画（食肉事業本部）

●国内生産事業

- ・飼料価格は第3四半期から円安ということで高騰を見込むものの、今期における影響は限定的となる。
- ・豚肉の生産は安定してきており、更なる生産性向上に努める。
- ・鶏インフルエンザの発生が多発し予断を許さない状況が続く中、防疫体制を徹底する。

●国内食肉市況

- ・和牛においては出荷頭数が少なく、市況は高値で推移する見通し。
- ・輸入鶏肉の市況高騰により、ムネ肉を中心に鶏肉価格は堅調に推移すると見込む。

●輸入食肉市況

- ・引き続き米国産牛肉のマーケットは拡大しているが、荷動きに注視が必要。
- ・輸入豚肉は米国の生産数量増加から安定した市況を見込む。
- ・輸入鶏肉は1月以降市中在庫が減少し、ブラジル産鶏肉を中心に市況が高騰。

●食肉販売（フード会社）

- ・国産鶏肉「桜姫」に次ぐ自社生産ブランドとして国産豚肉「麦小町」の拡販に努める。
- ・米国TYSON社と提携し輸入を開始する米国産牛肉ANGUS Valley（アンガスバレー）の拡販に努める。
- ・伸長する量販店への深耕販売は継続すると共に、外食等のチャンネルを昨年比まで戻す。



国産豚肉ブランド
「麦小町」



輸入牛肉の
新ブランド
米国産牛肉
「ANGUS Valley」

4. 2017年3月期計画（関連企業本部）

●水産事業の売上拡大施策

（マリンフーズ）

- ・超高压加熱加工機を活用した『卵黄ソース』や、『ビールのある食卓シリーズ』の販売を強化し自社製造商品の拡販を図る。
- ・釧路丸水糰を活用した商品の旨味タコ、北釧鯖を使用したしめ鯖の拡販。



超高压加熱加工機を活用した
 ビールのある食卓
 「蒸し鶏中華くらげ」



釧路丸水糰
 「旨味タコ」

（宝幸）

- ・拡大するおつまみ市場に『THE BAR』シリーズを投入し拡販を図る。
- ・エリアを特定した効果的なCMの投下で、さば缶の拡販を図る。



拡大するおつまみ需要に投入する
 THE BARシリーズ
 「陸奥産帆立アヒージョ」 「焼鳥もも たれ味」

●乳製品事業の売上拡大施策

（チーズ）

- ・好調なスモークチーズに、明太子味を新たに投入し拡販を図る。
- ・ユーザーニーズにきめ細かく対応し、業務用商品の拡販を図る。

（ヨーグルト）

- ・エリアを特定した効果的なCMの投下で、バニラヨーグルトの拡販を図る。
- ・消費者の健康志向に対応した好調のスムージーシリーズに新商品を投入し、拡販を図る。



エリアCMを投下し拡販を図る
 「バニラヨーグルト」



消費者の健康ニーズに
 対応しご好評を得ている
 スムージーシリーズ新商品
 「パープルスムージー」

●主原料・副資材価格動向

- ・水産品原料は、秋鮭やイカを中心とした漁獲減や海外からの鮭鱒を中心とした供給減の影響がしばらく続き、一般的に高値が継続すると予想される。
- ・乳製品原料は、EU、オセアニアにおいて生乳の減産や調整がされたことにより、当面は上がり基調となることが予想される。

5. 2017年3月期計画（海外事業本部）

●豪州事業部

- ・ブランド牛を中心とした販売価格の上昇と仕入れ価格の若干の
 落ち着きから計画比で赤字幅縮小を見込む。
- ・厳しい環境は継続するが、マーケティングを進め販売面を強化する。

●米州事業部

- ・北米での加工品の販売が好調に推移し増益を見込む。
- ・日本向けの食肉輸出は11月以降米ドル高の影響もあり上期比で減速を見込むが、
 米国産牛肉・豚肉共に競争力ある価格で推移しており収益は安定している。

●アジア・欧州事業部

- ・トルコ エゲタブ社において、地政学的に厳しい環境の中、市況は回復傾向にあり収益の改善を見込む。

【（参考）2017.03 3Q累計豪州事業販売実績】

主な販売先国	数量構成比	数量（昨年比）
日本	28%	98%
米国	12%	36%
韓国	14%	94%
中国	6%	67%
台湾	5%	83%
豪州国内	16%	101%
その他	19%	95%
合計	100%	78%

【2017年3月期 海外事業本部 営業利益増減要因と営業利益額計画】

海外事業本部	4Q見込			下期見込			通期見込			4Q営業利益見込		下期営業利益見込		通期営業利益見込	
	2Q時 計画		計画差	2Q時 計画		計画差	2Q時 計画		計画差	2Q時 計画	見込	2Q時 計画	見込	2Q時 計画	見込
豪州事業部	1億円	5億円	4億円	△7億円	△2億円	5億円	△53億円	△48億円	5億円	△6億円	△2億円	△10億円	△5億円	△19億円	△14億円
米州事業部	3億円	0億円	△3億円	6億円	5億円	△1億円	9億円	8億円	△1億円	5億円	2億円	11億円	10億円	15億円	14億円
アジア・欧州事業部	3億円	2億円	△1億円	0億円	△2億円	△2億円	5億円	3億円	△2億円	1億円	△1億円	0億円	△2億円	4億円	2億円
その他要因	△1億円	△1億円	0億円	△2億円	△2億円	0億円	△4億円	△4億円	0億円	△2億円	△2億円	△4億円	△4億円	△8億円	△8億円
合計	7億円	6億円	0億円	△2億円	0億円	2億円	△44億円	△42億円	2億円	△2億円	△3億円	△2億円	0億円	△8億円	△6億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

Ⅲ. 2017年3月期 第3四半期財務データ

1. 2017年3月期連結業績概要及び通期計画
2. 販管費、その他の営業費用、その他の収益
3. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

1. 2017年3月期連結業績概要及び通期計画

(単位：百万円、%)

	2016年3月期実績			2017年3月期実績及び計画								
	3Q 累計実績	4Q 実績	通期 累計実績	3Q 累計実績	前年比	数量 伸長率	4Q 計画	前年比	数量 伸長率	通期 累計計画	前年比	数量 伸長率
売上高	953,437	275,887	1,229,324	926,349	△ 2.8	-	273,651	△ 0.8	-	1,200,000	△ 2.4	-
ハム・ソーセージ	112,563	28,896	141,459	112,308	△ 0.2	2.3	29,292	1.4	3.0	141,600	0.1	2.5
加工食品	168,118	53,190	221,308	174,829	4.0	5.0	54,871	3.2	5.2	229,700	3.8	5.0
食肉	546,901	158,594	705,495	516,324	△ 5.6	1.7	157,276	△ 0.8	3.0	673,600	△ 4.5	2.0
牛肉	228,152	60,824	288,976	209,493	△ 8.2	△ 5.5	62,007	1.9	3.5	271,500	△ 6.0	△ 3.5
豚肉	168,464	53,459	221,923	167,432	△ 0.6	2.6	52,968	△ 0.9	4.0	220,400	△ 0.7	2.9
鶏肉	131,422	38,966	170,388	120,181	△ 8.6	5.0	36,219	△ 7.0	1.6	156,400	△ 8.2	4.2
その他食肉	18,863	5,345	24,208	19,218	1.9	9.3	6,082	13.8	9.1	25,300	4.5	9.3
水産	74,423	20,281	94,704	72,260	△ 2.9	△ 3.9	19,440	△ 4.1	△ 6.7	91,700	△ 3.2	△ 4.5
乳製品	24,155	7,241	31,396	25,406	5.2	8.3	7,894	9.0	9.3	33,300	6.1	8.6
その他	27,277	7,685	34,962	25,222	△ 7.5	-	4,878	△ 36.5	-	30,100	△ 13.9	-
売上原価	776,936	228,710	1,005,646	744,283	△ 4.2							
売上総利益	176,501	47,177	223,678	182,066	3.2							
売上総利益率	18.5%	17.1%	18.2%	19.7%	-							
販売費及び一般管理費	132,576	41,895	174,471	135,701	2.4							
営業利益	43,925	5,282	49,207	46,365	5.6		6,635	25.6		53,000	7.7	
税引前利益	41,198	△ 5,889	35,309	42,527	3.2		6,473	-		49,000	38.8	
法人税等	11,194	1,923	13,117	12,964	15.8		2,036	5.9		15,000	14.4	
税率	27.2%	△ 32.7%	37.1%	30.5%	-		31.5%	-		30.6%	-	
非継続事業の損益	△ 2,539	△ 691	△ 3,230	△ 12	-		-	-		△ 12	-	
当社株主帰属当期純利益	27,195	△ 5,416	21,779	29,633	9.0		4,367	-		34,000	56.1	

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

2. 販管費、その他の営業費用、その他の収益

(単位：百万円、%)

	2016年3月期		2017年3月期	
	第3四半期累計実績	第3四半期累計実績	対前年増減率	対前年増減額
★① < 販管費 >				
販売費および一般管理費	132,576	135,701	2.4	3,125
人件費	50,854	51,932	2.1	1,078
広告宣伝費	8,632	7,907	△ 8.4	△ 725
★② 物流費	40,337	41,713	3.4	1,376
その他	32,753	34,149	4.3	1,396

主な増減要因

★① 販管費

売上高販管費率は 13.9% から 14.6% へと 0.7ポイント上昇。

★② 物流費

季節要因による販売数量増加により物流費が約14億円増加。

(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期		2016年3月期 通期実績
	第3四半期累計実績	第3四半期累計実績	対前年同期増減	
★① その他の営業費用及び(△収益) - 純額	1,124	3,164	2,040	11,849
固定資産関連	1,124	325	△ 799	11,858
特別退職金	-	2,839	2,839	-
その他	-	-	-	△ 9
その他の収益及び(△費用) - 純額	△ 547	198	745	△ 665
受取利息・配当金	859	867	8	1,031
為替差損益	△ 1,290	△ 1,127	163	△ 1,706
その他	△ 116	458	574	10
支払利息	1056	872	△ 184	1,384

主な増減要因

★① 特別退職金

当社および連結子会社における転籍者に対する特別加算金約28億円。

3. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

(単位：百万円、%)

《連結貸借対照表》		2016年3月期 期末実績	2017年3月期 第3四半期実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	682,855	742,875	8.8	60,020
	現金及び現金同等物	67,321	70,835	5.2	3,514
★②	売上債権	128,285	184,827	44.1	56,542
★③	棚卸資産	133,518	127,365	△ 4.6	△ 6,153
	有形固定資産	264,014	273,617	3.6	9,603
	投資及びその他の資産	40,515	44,748	10.4	4,233
	長期繰延税金資産	9,321	7,847	△ 15.8	△ 1,474
	負債合計	321,495	357,063	11.1	35,568
	支払手形及び買掛金	94,276	128,946	36.8	34,670
	有利子負債	154,583	154,138	△ 0.3	△ 445
	退職金及び年金債務	14,426	14,127	△ 2.1	△ 299
	当社株主資本	356,353	381,462	7.0	25,109
	非支配持分	5,007	4,350	△ 13.1	△ 657
	資本合計	361,360	385,812	6.8	24,452

主な増減要因

★① 資産合計

②③を含めて約600億円の増加。

★② 売上債権

季節要因による売上増で約565億円の増加。

★③ 棚卸資産

食肉在庫減少等により前期末比、約62億円の減少。

(単位：百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2016年3月期 第3四半期実績	2017年3月期		2017年3月期	
		第3四半期実績	対前年増減率	対前年増減額	通期計画
設備投資額	26,725	26,697	△ 0.1	△ 28	52,000
生産設備	12,409	12,005	△ 3.3	△ 404	20,900
販売・物流設備	2,331	4,377	87.8	2,046	8,900
ファーム・処理設備	5,124	5,160	0.7	36	10,100
海外事業設備	2,954	2,679	△ 9.3	△ 275	6,100
その他設備	3,907	2,476	△ 36.6	△ 1,431	6,000
減価償却費	14,464	14,657	1.3	193	20,000

お問合せ先

〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。